



2月号

令和2年 1月 31日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

最高学年のバトン

副校長 青島 大受

1年のうちで最も寒さの厳しい大寒を過ぎ、立春ももうすぐです。季節は、春へと確実に進んでいますね。今年の冬は、暖冬傾向で、例年よりやや過ごしやすいようです。おかげさまで、小学校でも、休み時間には子どもたちの元気な声が聞こえてきています。保護者の皆様・地域の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

さて、6年生にとっての小学校生活は、残り30日程度となりました。学校では、卒業に向けた取組が始まっています。6年生は、いくつかのグループに分かれ、校長室で校長先生と一緒に給食を食べる「校長室ランチ」や小学校生活の思い出を形として作成する「卒業制作」なども進められています。子どもたちの会話には、卒業後の新たな生活に向けた夢や希望があふれています。

5年生は、2月27日(木)の6年生への「ありがとう集会」において、感謝の気持ちを伝えるために、たてわり活動の中心になり、他の学年の友達と協力してプレゼント作りや飾り付けなどの準備を進めています。たてわり班をまとめていくという活動を通して、自分たちが最上級生になるという自覚や責任、リーダーシップや下級生への思いやりなどを身に付けています。最高学年のバトンは、確かに受け継がれつつあります。

2016年に行われたリオデジャネイロオリンピックの陸上競技・男子4×100mリレーにおいて、日本チームは、好成績を残すことができました。その要因として、バトンパスがよく取り上げられています。日本チームのバトンパスの方法は、効率が良い一方、難易度が高いために何度も練習しなければならなかったそうです。その技を身に付けるために、選手たちはたくさんの練習を重ねてきたことでしょう。今年の東京オリンピックでも、その栄誉を引き継ぐ選手たちがさらに進化したバトンパスを見せてくれることと思います。東中田小学校の最高学年のバトンも、6年生の支えのもとに、5年生の頑張りや、スムーズにつながっていくことでしょう。私自身もこの学校とともに大切に時を重ねてきた諸先輩方、地域の方々からの大切な思いを受け継ぎ、日々の教育活動を進めています。今後も教職員一同、子どもたちの思い、諸先輩方の思い、地域の人々の願い等を受け止め、よりよい東中田小学校を創造していきたいと考えております。

ひなカリ通信～1月24(金)の授業研究会の報告～

1月24日(金)に、1年3組で、授業研究会を行いました。「ピカニコたんけんたい～ニコニコ大きくせん～」と称して、身の回りの人と仲良くしていくことについて話し合い、子どもたちは周りの人とのよりよいかかわり方を学んでいました。この授業でも、本校が目指す「自分づくりに関する力」の育成をめざしました。私たち、大人も、身の回りの人をニコニコにさせたいものです。